

# 新聞カフェ

メンバー数：5名 活動場所：伊勢市  
実施主体：中日新聞社  
担当教員：齋藤 平（教育開発センター）  
活動年度：H29, H30, R1

第1回新聞カフェ  
テーマ：新聞とは

第2回新聞カフェ  
テーマ：参議院議員選挙

第3回新聞カフェ  
テーマ：防災

第4回新聞カフェ  
テーマ：天皇制

第5回新聞カフェ  
テーマ：今年一年で印象に残ったニュース

第6回新聞カフェ  
テーマ：若者の活字離れ

2019

6

7

10

11

12

1

## <成果と課題>

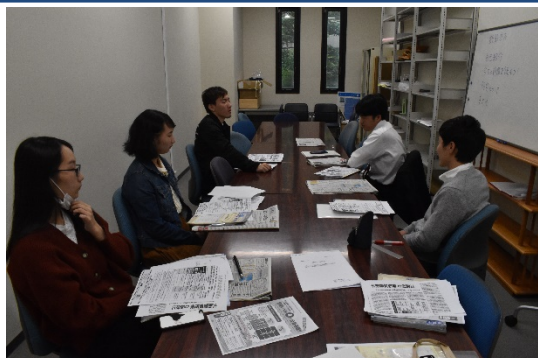
今年度も昨年度から継続して、中日新聞社伊勢支局様のご協力のもと活動を行ってきました。今年度は、担当の記者の方が変更され、過去2年とは違った雰囲気で行えたと思います。

成果として、今年度はその時期にあったタイムリーな話題を多く扱うことができました。第2回新聞カフェは、若者視点から見た参議院議員選挙について議論を行いました。その様子を中日新聞の三重県版に大きく掲載していただきました。友人や地域の人にも「記事見たよ!」と言っていただき、その影響力の大きさを実感しました。

また、第3回新聞カフェでは、防災(特に台風19号被害)について議論を行いました。記者の方が浸水被害を受けた伊勢市楠部町を実際に取材をされており、当時の現場での状況や被害を受けた方々の声を聞くことができました。そこから自分自身の防災意識や避難の基準について考えられました。

第6回新聞カフェでは、活字をテーマに議論を行いました。近年、スマートフォンの普及によって活字離れが問題となっています。そこで、他の人の読む本の選び方を知り、自分たちの読書について考えました。活字(新聞、本)を読む習慣をつけるにはどうすべきか議論しました。

課題としては、年度初めに目標とした月2度の開催ができなかったこと。新聞カフェ開催の告知が浸透せず参加するメンバーが固定化されてしまったこと。テーマと地域課題との関連性が薄くなってしまったことが考えられます。



## <実施主体様の声>

2019年度の新聞カフェでは、「参院選時に学生が選ぶ争点」や「台風19号時の避難行動」などのテーマで議論してもらいました。夏以降は中日新聞紙面上で活動を紹介させていただく機会を設けたため、学生さんたちには事前にテーマについて勉強してもらうなど、少しハードな面もあったかもしれませんが、自ら考えてから他人と議論することによってより一層学びが深まったのではないかと思います。

テーマによってはあまり興味が無いものや、一切知らないものもあったかと思いますが、食わず嫌いをせずに、一度自分で調べてみてから判断することは大事だと私は思います。新聞カフェに参加した学生さんたちは、どんなテーマを振っても、しっかりと「自分の意見」を発表することができていました。その姿勢を忘れずに今後も頑張っていたきたいと思います。

## <特にアピールしたいポイント>

- ・CLL活動に入っていない人でも参加することができる。
- ・議論したいテーマを提案することができる。
- ・トピックに対していろいろな考え方を共有できる。



2019年11月7日中日新聞朝刊伊勢志摩版の紙面に掲載していただきました。